

【① はじめに】

- (1) 計画改定の趣旨： 県では、子どもたちが安心して健やかに成長し、生き生きと暮らすことができる神奈川の実現を目指し、平成 27 年 3 月に「神奈川県家庭的養護推進計画」を策定し、その後の平成 28 年の児童福祉法等の改正、平成 29 年 8 月の「新しい社会的養育ビジョン」を踏まえ、「神奈川県社会的養育推進計画」（以下「現行計画」という。）と改定・名称変更した。この計画の前期末（令和 6 年度）に進捗状況を検証し、後期（令和 7 年度～11 年度）の計画を見直すこととしており、また、令和 4 年度改正児童福祉法の内容等を踏まえた見直しを行う必要があることから改定を行うもの。
- (2) 計画の位置付け： 県の総合計画である「かながわグランドデザイン」を補完する、特定課題に対応した個別計画
- (3) 計画期間： 令和 7（2025）年度～令和 11（2029）年度までの 5 年間
- (4) 対象地域： 政令指定都市および児童相談所設置市を除く県所管域

【② 本県の子どもを取り巻く状況】

- (1) 少子化の進行
- (2) 子どもと家庭を取り巻く状況
- (3) 県所管域の社会的養護の状況

【⑤ 代替養育の需要量と供給量】

- (1) 現況
- (2) 代替養育を必要とする子ども数（需要量）
- (3) 里親等の供給量
- (4) 乳児院・児童養護施設等の供給量

【③ 社会的養育の体制整備の基本方向と全体像】

<前期計画>

「子どもの権利保障」「家庭養育優先原則」を念頭に、  
家庭への養育支援から代替養育・自立※1支援まで社会的養育の充実



<後期計画>

「パーマネンシー保障※2」「当事者であるこどもの意見の反映」  
「市町村との連携体制」「評価のための指標とPDCAサイクル」

**社会的養育を必要とする子どもたちが安心して健やかに成長し、生き生きと暮らすことができる神奈川**

※1 自立：心理的身体的に安全で安心な居場所が確保できていて、他の人とつながりながら自らの意思決定に基づき、社会の中で暮らすこと

※2 パーマネンシー保障：子ども自身がずっとともにいてくれると感じる信頼できる大人との、途切れないつながりを土台として、子どもが成長していくことを実現すること

⑥ 4つの柱

(1)子どもの権利擁護の推進

- ア 子どもの意思形成と意思表示のための支援
- イ 子どもの意見を聴き、代弁する支援
- ウ 子どもの権利擁護に係る環境整備
- エ 子どもへの虐待の禁止の徹底

<取組結果>

- 子どもの権利理解と意見表明の促進
- 子ども集会等の開催
- 子どもの人権相談室事業の強化
- 子どもの意見の代弁事業の推進
- .....

<課題>

- ・育ちの過程での意見表明機会の不足
- ・権利ノートの説明
- ・子ども自身が決定に参画する機会
- ・人材の確保・育成
- .....

⑦ 具体的な取組み

- ・権利についての職員研修、子どもへの説明
- ・権利や意見表明、児福審申立てについての子どもの認知度、利用度、満足度の把握
- ・子ども会議の開催
- ・子ども自身の意思決定過程への参画
- .....

(2)子どもと家庭を地域で支援する取組みの推進

- ア 児童相談所の体制強化と関係機関との連携強化
- イ 子どもの権利が守られ適切なケアを提供する一時保護
- ウ 市町村の子ども家庭相談体制の強化に向けた支援
- エ 乳児院における子ども家庭支援の新たな展開
- オ 支援を必要とする妊産婦等の支援に向けた取組み

<取組結果>

- 児童相談所の体制強化
- 関係機関間のさらなる連携強化
- 死亡事例等の重大事例の検証と再発防止
- 施設や里親等への一時保護委託
- 一時保護所の自己評価及び第三者評価の実施
- .....

<課題>

- ・児童相談所の職員育成体制等の強化
- ・一時保護の長期化、定員超過
- ・市町村に児童養護を知ってもらう
- ・施設が所在しない市町村との連携
- ・出産前からの支援
- .....

- ・児童相談所の体制強化
- ・一時保護施設の見直し
- ・一時保護所の第三者評価
- ・市町村との人材交流の実施
- ・児童家庭支援センター
- ・妊産婦等生活援助事業
- .....

(3)家庭と同様の環境における養育の推進

- ア 子どものパーマネンシーを保障する支援体制の構築
- イ 里親等への委託の推進
- ウ 児童養護施設等の高機能化等
- エ 障害児入所施設における支援

<取組結果>

- 包括的フォostリング業務実施体制構築
- 乳児院からの里親等委託の重点的推進
- 施設の小規模化及び地域分散化の推進
- 施設の高機能化及び多機能化
- .....

<課題>

- ・子どもに合った施設里親が選べない
- ・里親支援の質・量を高める必要性
- ・施設の人材確保・育成
- ・里親支援センターの検討
- .....

- ・パーマネンシー保障を推進するチームの設置
- ・里親支援体制の強化
- ・里親ショートステイ
- ・里親支援センター
- ・児童養護施設の高機能化
- .....

(4)社会的養護経験者等の自立支援の推進

- ア 社会的養護経験者等の自立支援ニーズの把握
- イ 成人期へつなぐ子どもの自立支援の推進

<取組結果>

- 代替養育を経験した者からの意見聴取
- 子どもの自立に向けた支援の充実
- .....

<課題>

- ・ケアリーバーの実態把握
- ・18歳近くで保護された子のケア
- .....

- ・ケアリーバーの実態把握調査
- ・児童自立生活援助事業の実施
- ・地域資源の見える化
- .....

【⑧ 計画の進捗管理・評価】

<別冊>資料